

令和4年度

事業報告書

# 令和4年度事業報告書

## I 総括事項

当センターは、建設技術者の資質の向上を図るとともに、県及び市町が施行する建設事業の円滑で効率的な執行を支援し、もって良質な社会資本の構築に寄与することを目的とする財団法人として平成7年4月1日設立され、その後、公益法人制度の改革により、平成24年度に一般財団法人へ移行した。

移行11年目に当たる令和4年度においては、コロナ禍の行動制限が緩和される中、事業計画に基づき、県及び市町に対する各種支援業務等を適宜実施し、概ね計画どおり遂行できたところである。

まず、研修等業務として技術研修業務については、当初計画どおり23回の研修を効果的に実施するとともに、県及び市町の様々なニーズに適確に対応するため、センター独自で積算システムの講座を行った。

次に、調査研究業務については、山口県が抱える様々な土木行政課題の解決を図るため、県と山口大学及び徳山工業高等専門学校と12テーマについて共同研究を行った。

次に、土木積算システム支援業務については、19市町3関係機関に対し、同システムを貸与するとともに適切な運用支援を行った。

次に、積算等受託業務として、県及び市町から81件に及ぶ調査設計管理、設計図書作成及び工事管理業務を受託し、公共工事の迅速で効率的な発注及び執行について積極的に支援した。

次に、土地区画整理業務については、市から引続き1件の業務を受託し、区画整理事業の支援を行った。

また、公益目的業務については、社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座等を実施するとともに、県及び市町土木技術職員等に対する派遣研修支援等を行った。

## II 庶務事項

### 1 評議員会

当センターの円滑な業務執行を図るため、評議員会を下記のとおり開催した。なお、コロナ禍等のため評議員会については書面決議の対応とした。

区分	開催年月日・場所	議 題 等
第1回	令和4年4月1日 (臨時:書面決議)	・評議員1名の選任について ・理事1名の選任について ・監事1名の選任について
第2回	令和4年6月3日 (定時:書面決議)	・令和3年度決算について ・理事1名の選任について

### 2 理事会

当センターの円滑な業務執行を図るため、理事会を下記のとおり開催した。なお、コロナ禍等のため理事会については書面決議の対応とした。

区分	開催年月日・場所	議 題 等
第1回	令和4年4月1日 (臨時:書面決議)	・事務局長の選任について
第2回	令和4年5月19日 (定時:書面決議)	・令和3年度事業報告について ・令和3年度収支予算の補正に関する専決処分について ・令和3年度決算について ・令和3年度公益目的支出計画実施報告書について ・令和4年度定時評議員会の開催について
第3回	令和5年2月20日 (定時:Web会議)	・令和4年度事業計画の変更について ・令和4年度収支補正予算について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度収支予算について ・一般財団法人山口県建設技術センター就業規程の一部改正について ・一般財団法人山口県建設技術センター給与規程の一部改正について
第4回	令和5年3月29日 (臨時:書面決議)	・評議員会の開催について

### 3 監査

当センターの適切な業務執行のため、下記の監査を受けた。

区分	監査年月日・場所	監 査 内 容
内部 (決算)	令和4年5月12日 NPYビル2階第1会議室	令和3年度の事業執行状況、決算及び公益目的支出計画実施報告書について

#### 4 評議員及び役員の就退任状況

人事異動等に伴い、次のとおり就退任があった。

職名	就任又は再任		辞任又は任期満了退任	
	氏名	年月日	氏名	年月日
評議員	片山 克浩	令和 4年 4月 1日	森岡 弘道	(令和 4年 3月 31日)
評議員	仙石 克洋	(令和 5年 4月 1日)	片山 克浩	令和 5年 3月 31日
理事	村上 守	令和 4年 4月 1日	小森 和雄	(令和 4年 3月 31日)
監事	工藤 展照	令和 4年 4月 1日	米原圭太郎	(令和 4年 3月 31日)
理事	山下 純二	令和 4年 6月 3日	村岡 辰浩	令和 4年 6月 3日
理事	今村 政裕	(令和 5年 4月 1日)	阿部 雅昭	令和 5年 3月 31日
理事長	〃	〃	〃	〃

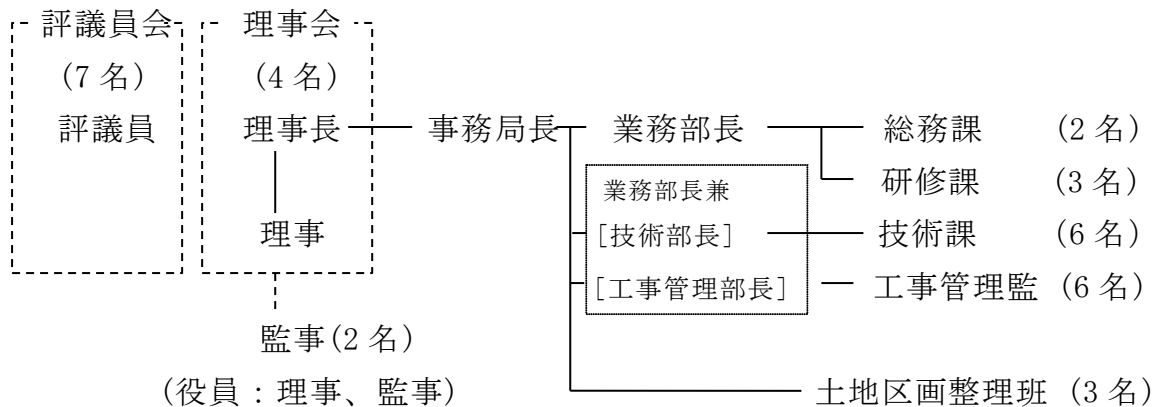
他の法人等の代表理事等との重要な兼職の状況

無し

#### 5 業務執行体制

事業の円滑な実施に対応するため、職員のうち県から5名の派遣を受け、引き続き業務執行体制の確保に努めた。

【センター組織図（令和4年4月1日現在）】



#### 6 役職員※の状況(※この場合の役員は、評議員を含む)

役員数 (うち地方公共団体出向者・退職者)	役員平均年齢	役員の平均年収
13名 (11名)	60歳	5,115千円 (注1)
職員数 (うち地方公共団体出向者・退職者)	職員平均年齢	職員の平均年収
22名 (17名)	56歳	4,630千円 (注2)

※ 平均年齢は令和4年4月1日現在、平均年収は手当込み

(注1) 常勤役員を対象、(注2) 臨時職員を除く全職員を対象

## 7 全国建設技術センター等協議会等への出席状況

例年開催の全国建設技術センター等協議会関連の会議については、昨年度までコロナ禍の下、書面決議やWeb会議のみであったが、一部集合開催に切り替わり、会議に参加した。

また、令和4年度は、令和3年度に引き続き、全国建設技術センター等協議会の諮問機関である技術委員会の委員長及び事務局を引受け、技術講習会等を主催するとともに、技術委員会に付託された調査研究テーマ「品確法の改正を踏まえた全技協としての貢献のあり方について」の最終報告を取り纏めた。

会 議 名	場 所	開催年月日	参加人員
令和4年度通常総会	(書面決議)	R 4. 5. 27	—
令和4年度中国四国ブロック技術研修会	島根県(Web会議)	R 4. 9. 1	2人
令和4年度中国四国ブロック支部会議	島根県(Web会議)	R 4. 9. 1	3人
令和4年度技術研究発表会(事務局対応兼)	宮崎県	R 4. 9. 29	6人
令和4年度全国会議	高知県	R 4. 10. 27	2人
令和4年度技術講習会(事務局対応兼)	東京都	R 5. 1. 26	8人
令和4年度第1回理事会	山形県(Web会議)	R 4. 4. 13	4人
令和4年度第2回理事会	青森県	R 4. 8. 31	1人
令和4年度第3回理事会	(オンライン報告)	R 4. 12. 15	—
令和4年度第4回理事会	青森県(Web会議)	R 5. 2. 15	3人
令和4年度第1回技術委員会	北海道	R 4. 7. 28	3人
令和4年度第2回技術委員会	新潟県	R 4. 11. 10	3人
令和4年度第3回技術委員会	長野県	R 5. 2. 2	3人
令和4年度第1回技術委員会連絡担当者会議	山口県(Web会議)	R 4. 4. 26	2人
令和4年度第1回技術委員会作業部会	山口県(Web会議)	R 4. 6. 8	2人
令和4年度第2回技術委員会作業部会	山口県(Web会議)	R 4. 10. 25	2人
令和4年度第3回技術委員会作業部会	東京都	R 5. 1. 27	2人

## 8 職員研修

当センター職員の資質向上を図るため、全国建設研修センターが主催する研修会等15講座に、当センター職員を参加させた。・・・ 資料1

### Ⅲ 事業実績

#### 1 研修等業務

##### (1) 技術研修業務

##### ア 専門技術研修

県及び市町土木技術職員等に対する専門技術研修を行った。

資料2

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者	1回の日数	1回の人 数	
					計画	実績
職務基礎研修	新任者(前期)	・講話(山口県の社会資本整備) ・設計書の構成と歩掛表の見方(工事編) ・土木事業と工事監督 ・設計書作成演習	・県、市町の新規採用土木職員等	3	40	44
	新任者(後期) 【1日目Web研修】	・業務成績評定制度 ・土木事業と埋蔵文化財 ・設計書の構成(業務編) ・積算に関する質疑応答		3	40	39
	災害復旧基礎	・災害と災害復旧制度について ・災害復旧工法(河川、道路) ・査定設計書作成演習 (工法検討、設計図書作成、積算、模擬査定)		3	40	35
	CAD 【ライブ配信】	・CADの概要 ・CADの操作演習(初級、中級)		2	30	26
	積算システム	・設計書作成(基本編、応用編) ・設計書作成演習		1	30	12
	小 計 (5回)				—	180
実務能力研修	設計積算	・土木積算概論 ・設計書作成上の留意点	・県、市町の土木職で経験が5年程度の職員等	2	30	29
	道路実務	・道路計画概論 ・道路事業の実施		2	30	35
	下水道実務 【1日目Web研修】	・下水道の基礎知識 ・土留め工法の選定 ・開削工法演習		2	30	25
	港湾実務 【1日目Web研修】	・港湾関係基本法令 ・港湾の概要及び港湾計画について ・海岸事業について ・港湾関係災害復旧事業について ・港湾事業について ・港湾施設の維持管理計画について ・交付金事業について ・事業執行の留意点について ・海岸保全施設の維持管理について ・構造物の設計及び演習		2	30	24
	施工管理実務 (前期) 【2日目ハイブリッド研修】	・施工計画について ・工事写真の撮り方と写真管理のポイント ・土木工事書類作成マニュアル ・コンクリート構造物の品質確保について ・工事現場の安全確保について ・道路工事等に伴う交通安全対策について		2	30	45
	施工管理実務 (後期①②)	後期① ・山口県の建設DXについて ・ICT活用工事について ・ICT活用工事現場実習 (岩国土木管内 錦川) 後期② ・コンクリート目視評価現場実習 (宇部土木管内 阿知須高架橋・畷江高架橋・由良ICC-2号ボックスカルバート) ・グループ演習		各1	30	47

研修区分	研修課程名	研修内容	研修対象者	1回の日数	1回の人 数	
					計画	実績
実務能力研修	予算・法令実務 【Web研修】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土木技術職員のための建設業法</li> <li>・土木技術職員のための予算知識</li> <li>・契約・決算事務の流れ</li> <li>・社会資本整備総合交付金の制度について</li> <li>・地方債制度について</li> <li>・公共工事と会計検査</li> <li>・産業廃棄物の処理について</li> <li>・公共工事の労働災害防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が5年程度の職員等</li> </ul>	2	30	46
	測量・土質地質調査 【Web研修】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・測量の基礎知識</li> <li>・測量業務の流れ</li> <li>・測量技術に関する紹介</li> <li>・地質調査、土質調査の必要性</li> <li>・土質・地質調査、室内土質試験の種類と方法</li> <li>・土質・地質調査の事例紹介</li> </ul>		1	30	47
	検査実務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施工管理と工事検査</li> <li>・工事成績評定について</li> <li>・模擬工事検査</li> </ul>	1	30	27	
	建築工事監理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「工事監理」とは何か</li> <li>・工事監理の要点となる「適正な工期設定」</li> <li>・「公共建築工事標準仕様書」及び「建築工事監理指針」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の建築職員</li> </ul>	1	30	24
	転勤対象者技術 【Web研修】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・契約変更ガイドライン等について</li> <li>・建設業法に基づく適正な施工体制について</li> <li>・入札・契約制度の改正について</li> <li>・設計書作成上の留意点</li> <li>・総合評価入札方式について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の土木職員等</li> </ul>	1	30	46
小 計 ( 1 1 回)				—	330	395
専門能力研修	道路施設設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・舗装の設計</li> <li>・舗装の設計(演習)</li> <li>・歩道の構造とバリアフリー</li> <li>・自転車通行環境整備</li> <li>・交通事故対策の立案と設計</li> <li>・道路附属施設の設計、演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が10年程度の職員等</li> </ul>	2	30	17
	斜面对策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概要と基礎知識</li> <li>・斜面調査</li> <li>・斜面对策</li> <li>・設計演習</li> <li>・実習(標本園の踏査)</li> <li>・斜面对策の設計</li> <li>・斜面对策の維持管理</li> </ul>		2	30	27
	仮設工設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設構造物の基本</li> <li>・土留工の設計</li> <li>・土留工設計演習問題</li> <li>・仮設工のトラブルと対策</li> </ul>		2	30	21
	地盤対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・軟弱地盤の概要、検討方法</li> <li>・地盤改良工法</li> <li>・軟弱地盤と近接施工</li> <li>・杭基礎の概要、検討手法</li> <li>・杭の施工方法</li> <li>・設計演習</li> </ul>		2	30	15
	現場研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現場見学</li> <li>一般国道191号木与防災建設現場</li> <li>一般国道191号栗野橋(仮称)橋りょう整備工事(上部工)建設現場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職員等</li> </ul>	1	30	36
小 計 ( 5 回)				—	150	116
管理能力研修	積算技術 【Web研修】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改正品確法の趣旨を踏まえた取り組みについて</li> <li>・設計・契約変更ガイドライン等について</li> <li>・設計書作成について</li> <li>・設計書チェックのポイント</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県、市町の土木職で経験が20年程度の職員等</li> </ul>	1	30	27
	土木事業マネジメント 【Web研修】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事の労働災害防止</li> <li>・建設業をめぐる最近の施策・話題</li> <li>・公共工事と会計検査</li> </ul>		1	30	30
小 計 ( 2 回)				—	60	57
合 計 ( 2 3 回)				—	720	724

## イ センター独自研修

県及び市町の多様なニーズに対応するため、専門技術研修課程以外の研修をセンター独自で実施した。

### センター独自研修

	研修課程名	研修内容	研修対象者	1回の 日数	1回の 人数
1	積算システム	・設計書作成（基本編、応用編） ・設計書作成演習、質疑応答	市町の新規採用土木職員等	1	26
合 計 (1回)				1	26



## (2) 調査研究業務

山口県土木行政課題の解決を支援するため、12テーマについて共同研究を行った。

(山口大学 10テーマ、徳山工業高等専門学校 2テーマ)

	研 究 題 目	研究機関	備考
1	土砂洪水氾濫リスクと土砂供給ポテンシャルの把握に関する研究	山口大学	継続
2	鋼橋に施されたアルミニウム溶射の補修方法に関する検討	〃	〃
3	橋梁の変位監視へのGPS変位モニタリングについて	〃	〃
4	心と体の健康を増進する公園の新たな利活用に関する研究	〃	〃
5	立地適正化計画策定都市における「非集約エリア」の基本的な方針に関する研究	〃	〃
6	衛星画像による河道形状及び河川植生繁茂の時空間変化の把握	〃	〃
7	山口県の流域治水の在り方に関する基礎的研究	〃	〃
8	山口県における公共建築物の重要度係数による地震被害抑制効果に関する研究	〃	〃
9	河川工事における魚類生息場の事業前予測と事後評価	〃	新規
10	合理的なトンネルメンテナンスのための施工時画像情報取得方法の研究	〃	〃
11	山口県内の建設現場を活用した汎用的な教育・PR動画コンテンツの開発	徳山高専	継続
12	海上橋梁におけるLCCを考慮した塩害対策の検討	〃	新規

## (3) 情報提供業務

土木技術に関する情報を情報誌等により県・市町の土木技術職員に提供した。

また、ホームページにより、センター業務のPRや土木技術の情報提供を行い、様々な技術相談に対し適切に対応した。

#### (4) 土木積算システム運用支援業務

市町、県等の設計図書作成業務の迅速化、効率化を図るため、市町、県等に対して土木積算システムの運用支援を行った。

また、無料相談について、101件の照会に対応した。

令和4年度支援先台数一覧（19市町及び3関係機関） 資料3

支援先	台数（台）	金額（千円）	摘要
市町	354	46,096	13市6町
その他	59	7,413	県3機関
合計	413	53,508	

【参考：前年度実績】

	429	55,587	
--	-----	--------	--

## (5) 技術アドバイザー派遣業務

土木技術が高度化する中、発注者としての責務を果たすために、技術的経験の伝承が困難な8工種（橋梁、トンネル、地盤基礎、下水処理、建設環境、法面・斜面、ダム、コンクリート）について登録された技術アドバイザー（学識経験者33名、県土木技術職員等45名）を選定・派遣依頼し、担当者に助言をしてもらった。

### 【県】

	派遣先	事業名	概要	工種	摘要
1	岩国土木建築事務所	一般県道北中山岩国線道路改良工事	法面工(設計)	法面・斜面	学識経験者
2	周南土木建築事務所	一般国道376号道路災害復旧工事	グラウンドアンカー工一式	法面・斜面	学識経験者
3	周南土木建築事務所	一般県道笠戸島線単独道路改良(県道)工事に伴う設計業務委託	掘削工、グラウンドアンカー工、鉄筋挿入工	法面・斜面	学識経験者
4	防府土木建築事務所	仁保川河川災害復旧工事	緩傾斜落差工、魚道復旧	建設環境	学識経験者
5	砂防課	上坂本東大川、西寺川、曾根南川砂防工事	砂防堰堤工事	建設環境、下水処理	学識経験者
				コンクリート	学識経験者
6	道路整備課	一般県道給島櫛ヶ浜停車場線道路防災工事	斜面对策工	法面・斜面	学識経験者

### 【市町】

	派遣先	事業名	概要	工種	摘要
1	岩国市	市道渋前5号線(黒瀬橋)補修補強設計業務	橋梁補修・補強設計	橋梁	学識経験者
2	萩市	市道宮ヶ原線災害復旧工事	地すべり対策	法面・斜面	学識経験者
3	萩市	市道前小畑線(赤坂橋)橋梁補修工事	橋梁架け替え	橋梁	学識経験者

## 2 積算等受託業務

県及び市町が行う建設事業の円滑な執行を支援するため、次の業務を行った。

### 【調査設計管理業務・設計図書作成業務・工事管理業務】 資料4・5

区分	県事業		市町事業		合計		
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
調査設計管理業務	13	29,024	4	3,309	17	32,333	
内 訳	調査設計管理	7	9,902	3	2,819	10	12,721
	技術マニュアル作成	6	19,122	0	0	6	19,122
	設計成果チェック	0	0	1	490	1	490
設計図書作成業務	40	52,598	18	17,872	58	70,470	
工事管理業務	6	49,914	0	0	6	49,914	
合計	59	131,536	22	21,181	81	152,717	

### 【土地区画整理業務】

区分	—	市町事業		備考
		件数	金額(千円)	
土地区画整理業務	—	1	32,593	換地計画書等作成業務

### 【参考：前年度実績】

#### 【調査設計管理業務・設計図書作成業務・工事管理業務】

区分	県事業		市町事業		合計		
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	
調査設計管理業務	23	46,655	0	0	23	46,655	
内 訳	調査設計管理	13	17,818	0	0	13	17,818
	技術マニュアル作成	9	28,233	0	0	9	28,233
	設計成果チェック	1	604	0	0	1	604
設計図書作成業務	38	44,052	8	4,777	46	48,829	
工事管理業務	8	58,700	0	0	8	58,700	
合計	69	149,408	8	4,777	77	154,185	

#### 【土地区画整理業務】

区分	—	市町事業		備考
		件数	金額(千円)	
土地区画整理業務	—	1	39,226	換地処分作成業務等

### 3 公益目的業務

公益目的事業( (1) ~ (2) ) . . . 資料6

近年、地域の良好な社会経済活動の保全や活性化及び住民に対する安全・安心の確保のため、社会インフラの老朽化対策等が喫緊の課題となっており、この課題に的確に対応するため、建設技術者の人材育成を図る講座の実施に引き続き取り組んだ。

#### (1) 社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座 (6,438 千円)

項目	内容
初心者の技術レベルの底上げ	実施日：令和4年10月13日・10月18日～19日 題 目：令和4年度橋梁設計、維持管理研修 対象者：県・市町技術職員及び民間技術者の初心者 内 容：「橋梁等」の点検・維持管理・補強等に関する基礎的事項に係る座学と現場実習 受講者数：23名（県：7名、市町：16名） <span style="float: right;">(393 千円)</span>
中核となる人材の育成	実施日：令和4年9月12日～10月7日（全28コマ） 題 目：2022年度社会基盤メンテナンスエキスパート山口（ME山口）養成講座 対象者：社会基盤整備に関する実務経験を有する県・市町技術職員及び民間技術者 内 容：「橋梁とトンネル」の設計から点検および補修・補強に関する専門的事項に係る座学と現場実習 合格者数：43名（県市：14名、民間等：29名） （これまで募集人数は25名程度であったが、資格普及を拡充する事由から、50名程度に引き上げられ、合格者数が例年より増加した。） その他：山口大学との共同開催 <span style="float: right;">(6,045 千円)</span>

#### (2) 建設業に関する講座

項目	内容
出前講座 (建設業の魅力のPR)	・ 6月 7日 岩国工業高等学校 34名
	・ 6月16日 徳山商工高等学校 17名
	計 2校 51名

継続事業( (3) ~ (4) )

(3) 派遣研修支援 (1,751 千円)

県及び市町土木技術職員等を国土交通大学校等の研修に派遣する場合、テキスト代等の経費について支援を行った。

(総数28名：県13名、市町15名)

(4) 情報提供 (470 千円)

当センターの編集制作する情報誌を、県及び市町の土木技術職員等全員に配付した。

ホームページ等を活用して、公益目的業務に関する情報の提供を行った。

## IV 事業計画と実績との対比

当 初	実 績
<p>1 研修等業務</p> <p>(1) 技術研修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修回数：<u>23回</u></li> <li>・参加人数：<u>720人</u></li> <li>・センター独自研修の実施</li> </ul> <p>(2) 調査研究業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・官学共同研究の実施</li> </ul> <p>(3) 情報提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報誌配布、技術相談等</li> </ul> <p>(4) 土木積算システム運用支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム貸出台数：<u>400台</u></li> </ul> <p>(5) 技術アドバイザー派遣業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術アドバイザー派遣</li> </ul>	<p>1 研修等業務</p> <p>(1) 技術研修業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修回数：<u>23回</u></li> <li>・参加人数：<u>724人</u></li> <li>・同左</li> </ul> <p>(2) 調査研究業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同左</li> </ul> <p>(3) 情報提供業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同左</li> </ul> <p>(4) 土木積算システム運用支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム貸出台数：<u>413台</u></li> </ul> <p>(5) 技術アドバイザー派遣業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同左</li> </ul>
<p>2 積算等受託業務</p> <p>(1) 積算等受託業務件数：<u>95件</u></p> <p>(2) 土地区画整理業務件数：<u>1件</u></p>	<p>2 積算等受託業務</p> <p>(1) 積算等受託業務件数：<u>81件</u></p> <p>(2) 土地区画整理業務件数：<u>1件</u></p>
<p>3 公益目的業務</p> <p>(1) 公益目的事業</p> <p>ア 社会基盤メンテナンス技術者育成に関する講座 (初心者、中核となる人材)</p> <p>イ 建設業に関する講座 (出前講座)</p> <p>(2) 継続事業</p> <p>ア 派遣研修支援 (国土交通大学校等派遣研修支援)</p> <p>イ 情報提供</p>	<p>3 公益目的業務</p> <p>(1) 公益目的事業</p> <p>ア 同左</p> <p>イ 同左</p> <p>(2) 継続事業</p> <p>ア 同左</p> <p>イ 同左</p>

## V 令和4年度事業報告書に係る附属明細書について

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。